

不法投棄対策等について

市民、行政が連携・協働し、ごみ集積所の環境美化を図るとともに、相互の関係性を強化し今後の不法投棄・不適正排出を未然に防止することを目的として、下記のとおり「不法投棄・不適正排出防止キャンペーン」を実施しました。

《実施期間》

平成29年10月25日(水)～27日(金) 7時30分～9時00分

※10月23日(月)から実施予定であったが、台風第21号の接近に伴い影響を考慮し、23日を中止としました。

《実施主体》

向外瀬町会・弘前市環境管理課

《実施場所》

向外瀬3丁目一帯(向外瀬町会が管理するごみ集積所)

《活動内容》

1. ごみ排出状況の確認、指導。
2. ごみ収集後の状況確認。
3. 広報車両でのアナウンス放送。
4. 収集されなかったごみの回収、ごみ集積所の清掃。
5. 広報誌、ホームページで活動状況周知。

《キャンペーンの様子》



ごみ出しされる方へPRチラシの配布



排出状況の確認



収集作業の確認



広報車によるアナウンス放送

弘前で不法投棄防止キャンペーン

ごみ出しルール守って

向外瀬町会と巡回し呼び掛け 市が協力

弘前市は今月、市内町会と協力し、ごみ集積所をきれいに使うよう呼び掛ける「不法投棄・不適正排出防止キャンペーン」を実施した。不適切なごみの出し方により、集積所に残されたごみが付近住民の迷惑となるケースがあることから、市は今後も呼び掛けを継続したいと考えた。

(下山和枝)



住民にチラシを配布し、ごみ出しルールを守るよう呼び掛ける関係者＝25日

今回のキャンペーンに協力したのは、同市の向外瀬町会（鎌田正一町会長）。団地や住宅が多く集まる同町会では、分別を守らず業者が収集されないごみを関係者が片付けるなどしており、鎌田町会長は「ぜひ市と一緒にキャンペーンをしたいと申し出た」と話す。

キャンペーンは数日間実施し、このうちの25日は午前7時30分前から市職員と町会関係者が緑色のジャンパーを着用し、集積所付近

に待機。ごみ出しに訪れた住民にチラシを配

布したほか、市職員が広報車で周囲を巡回し呼び掛けをした。鎌田町会長は「通り掛かりの車の窓から集積所に向けてごみを投げ捨てる人や、収集されない自分のごみを引き取らない人など、課題は多い」とし、市の取り組みを進めたいと話をした。

秋元哲環境管理課長は「ルールを守らなければ最終的に地元の負担となることを知ってもらい、市民全体で適切にごみ出しをするよう取り組みを進めたい」と話した。